

# DNP

株主通信

## DNP Report vol.70

(証券コード：7912)

第118期 決算のご報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日



株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申しあげます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。



## 第118期の業績について

当期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)のわが国経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直してきたものの、海外景気の下振れや原油価格の上昇などもあり、引き続き厳しい状況にありました。印刷業界においても、震災後に減少した企業の広告宣伝費の回復の遅れや個人消費の伸び悩み、競争激化による受注単価の下落などにより、厳しい経営環境が続きました。

特に、液晶カラーフィルターなどのディスプレイ関連製品は、液晶テレビの世界的な販売不振に対応した大規模な生産調整や、主要取引先の事業方針転換の影響を受けて、事業環境が大きく変化しました。この変化に対応するため、普及が著しいスマートフォンやタブレット端末向けの中小型品へのシフトを進めるとともに、ディスプレイの高精細化や新製品の開発などに注力してきました。また、同分野の徹底した事業構造改革にも取り組み、生産拠点の集約のほか、液晶カラーフィルターの製造設備などを将来キャッシュフローに基づいて再評価し、約247億円の減損損失を計上しました。

その結果、当期の連結売上高は1兆5,072億円(前期比5.2%減)、連結営業利益は340億円(前期比49.8%減)、連結経常利益は368億円(前期比41.3%減)、連結当期純損失は163億円(前期は250億円の純利益)となりました。

## ❖ 新たな成長に向けた重点施策

今後も、国内外の景気の低迷に加え、地球環境やエネルギーに関する課題、国内での電力の供給不安や電気料金値上げの影響なども懸念されます。こうした厳しい事業環境のなか、私たちは以下の施策に重点的に取り組むことで、持続的な成長を実現し、企業価値を高めていきます。

### ● 事業創造型の研究開発の推進

私たちDNPは印刷技術と情報技術の応用発展により事業を拓げてきました。将来の経営の柱となる製品やサービスの開発についても、これまで以上に力を入れていきます。特に、社会の変化が激しい今日、生活者の視点に立って的確な課題解決を実現する“事業創造型”の研究開発が重要だと考えています。製品やサービス、そしてビジネスモデルのイノベーションを進めて新事業の創出に努めるとともに、その成果を知的財産として適切に管理・運用していきます。

### ● 社会的課題を解決するビジネスの強化

また、国内外で山積している課題に対し、社会が求めているものをビジネスにしていく“ソーシャルな視点”を重視していきます。2011年4月に発足させたソーシャルイノベーション研究所を核として、環境・エネルギー、教育、高齢化社会、ユニバーサルデザインなどのテーマでソーシャルビジネスを推進します。

### ● グローバル事業の拡大に向けて

私たちは1964年に香港事務所を開設して以来、“グローバルな視点”に立ち、海外での事業を積極的に展開してきました。近年では、DNPの製品やサービスへの海外での評価が一段と高まってきており、世界各地とのビジネスが活発になってきました。この動きをさらに加速させ、効果的に事業を展開していくため、2012年4月に海外事業を統括する組織を新設しました。

こうした新たな体制のもと、各地域のニーズに合わせて、製品の製造・販売・開発を最適化していく体制も順次構築しています。包装事業では、市場の成長が見込まれる東南アジアにおいて、1972年に開設したインドネシアの拠点に加えて、2013年4月にはベトナムにも工場を開設する予定です。拡大する日用品や食品向けのパッケージ需要に、高品質な製品を、世界規模で事業を展開するグローバル企業に提供することで事業の拡大を図っていきます。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり16円とし、中間配当金(1株当たり16円)とあわせて、前期と同額の32円とさせていただきます。

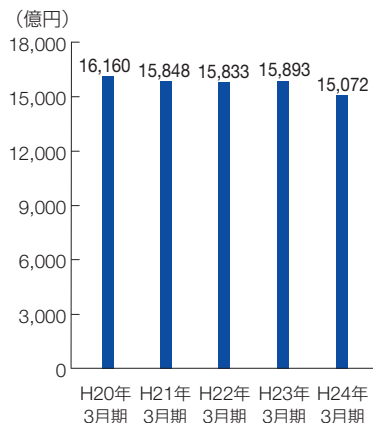
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

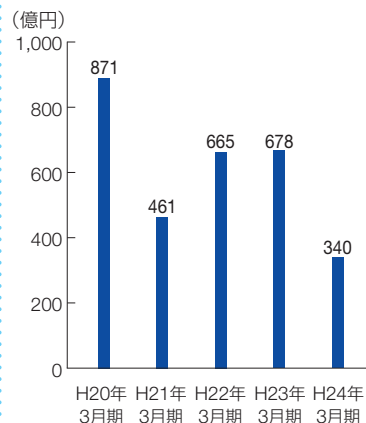
北島義俊

## データハイライト

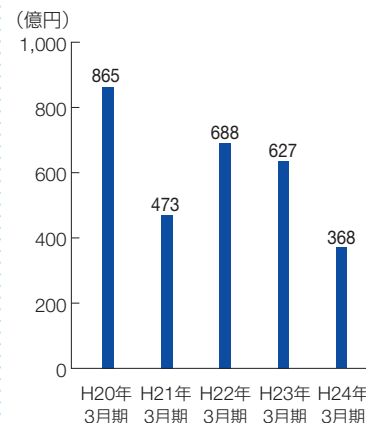
### ● 連結売上高



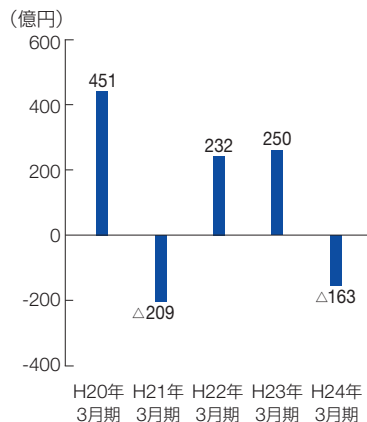
### ● 連結営業利益



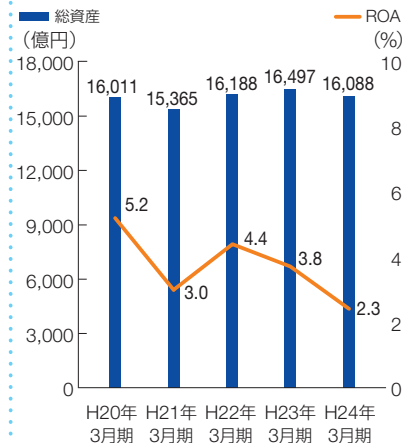
### ● 連結経常利益



### ● 連結当期純利益

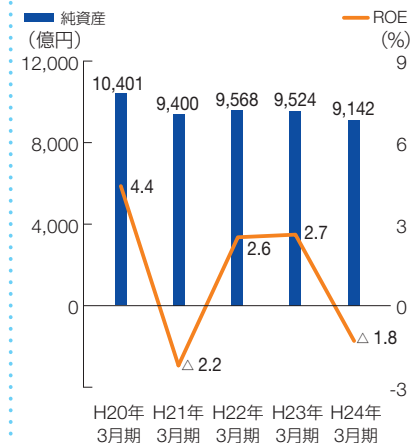


### ● 総資産/ROA



※ROAは、経常利益をベースに算出しています。

### ● 純資産/ROE



※ROEは、純利益をベースに算出しています。

## 連結財務諸表 (平成24年3月期)

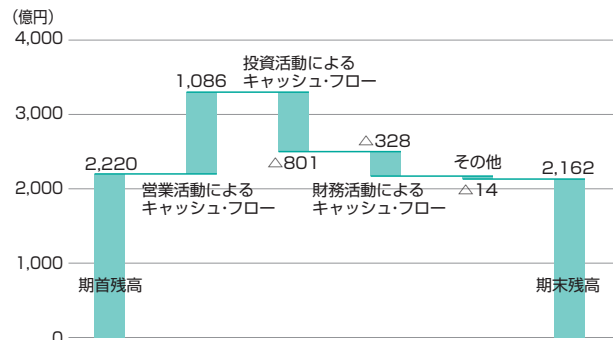
### 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

| 科目           | 当連結会計年度          | 前連結会計年度          |
|--------------|------------------|------------------|
| <b>資産の部</b>  | <b>1,608,806</b> | <b>1,649,784</b> |
| 流動資産         | 782,956          | 790,942          |
| 固定資産         | 824,959          | 857,587          |
| 繰延資産         | 889              | 1,253            |
| <b>負債の部</b>  | <b>694,593</b>   | <b>697,343</b>   |
| 流動負債         | 443,179          | 447,768          |
| 固定負債         | 251,413          | 249,574          |
| <b>純資産の部</b> | <b>914,213</b>   | <b>952,440</b>   |
| 株主資本         | 888,649          | 925,702          |
| その他の包括利益累計額  | △17,420          | △17,180          |
| 新株予約権        | 16               | 16               |
| 少数株主持分       | 42,967           | 43,902           |

### 連結キャッシュ・フロー(要約)

現金及び現金同等物の推移 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)



### 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

| 科目                                 | 当連結会計年度          | 前連結会計年度          |
|------------------------------------|------------------|------------------|
| <b>売上高</b>                         | <b>1,507,227</b> | <b>1,589,373</b> |
| 売上原価                               | 1,246,878        | 1,287,581        |
| 販売費及び一般管理費                         | 226,334          | 233,973          |
| <b>営業利益</b>                        | <b>34,015</b>    | <b>67,818</b>    |
| 営業外収益                              | 11,024           | 9,671            |
| 営業外費用                              | 8,195            | 14,704           |
| <b>経常利益</b>                        | <b>36,843</b>    | <b>62,786</b>    |
| 特別利益                               | 2,379            | 4,416            |
| 特別損失                               | 36,550           | 14,506           |
| 法人税等合計                             | 19,511           | 28,030           |
| <b>少数株主損益調整前<br/>当期純利益(純損失(△))</b> | <b>△16,838</b>   | <b>24,666</b>    |
| 少数株主損失(△)                          | △482             | △366             |
| <b>当期純利益(純損失(△))</b>               | <b>△16,356</b>   | <b>25,032</b>    |

### 連結包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)

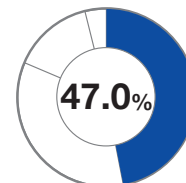
| 科目                         | 当連結会計年度        | 前連結会計年度       |
|----------------------------|----------------|---------------|
| 少数株主損益調整前<br>当期純利益(純損失(△)) | △16,838        | 24,666        |
| その他の包括利益                   | △501           | △12,191       |
| <b>包括利益</b>                | <b>△17,340</b> | <b>12,474</b> |
| (内訳)親会社株主に係る包括利益           | △16,596        | 13,302        |
| 少数株主に係る包括利益                | △744           | △827          |

## 部門別営業報告

### 情報コミュニケーション部門

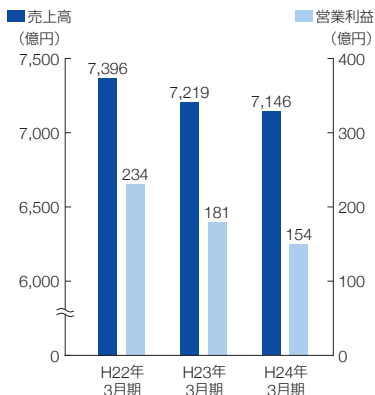
### Information Communication

売上高構成比



売上高 7,146億円 (前期比 1.0%減)

営業利益 154億円 (前期比 14.6%減)



出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、一貫製造ラインなどの強みを活かして書籍は増加したものの、雑誌は減少しました。商業印刷関連は、企業の広告宣伝費の回復の遅れから、チラシ、パンフレット、カタログなどが全般に低調で前年を下回りました。ビジネスフォーム関連は、通信系、交通系及び電子マネー向けのICカードなどが好調に推移しましたが、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS (Information Processing Services) が減少し、前年を下回りました。教育・出版流通事業は、連結子会社の増加などにより前年を上回りました。

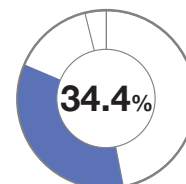


ハイブリッド型総合書店「honto」

### 生活・産業部門

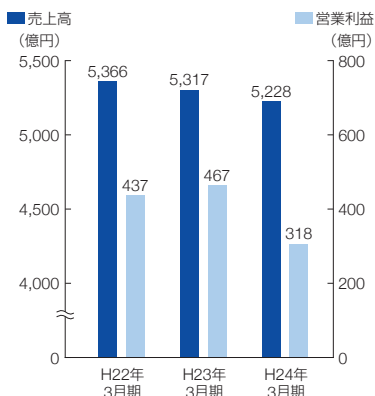
### Lifestyle and Industrial Supplies

売上高構成比



売上高 5,228億円 (前期比 1.7%減)

営業利益 318億円 (前期比 32.0%減)



包装関連は、ペットボトル用無菌充填システムやペットボトル用部材であるプリフォーム、機能性に優れたフィルムを使用した軟包装が増加し、前年を上回りました。住空間マテリアル関連は、DNP独自のEB (Electron Beam) コーティング技術を活かした環境配慮製品などが増加し、前年を上回りました。産業資材関連は、リチウムイオン電池用ソフトパックや太陽電池用バックシートなどのエネルギー関連部材、フォトプリンター用の昇華型熱転写記録材 (カラーインクリボンと受像紙) が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムが減少し、前年を下回りました。

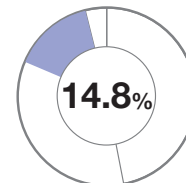


住宅用床材

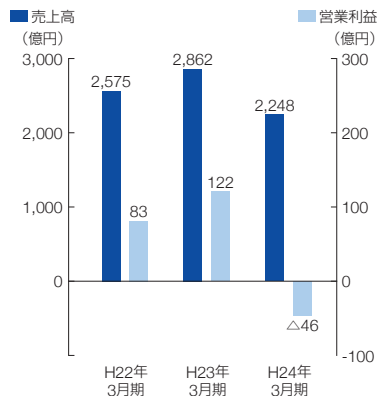
## エレクトロニクス部門

## Electronics

売上高構成比



売上高 2,248億円（前期比21.5%減）  
 営業損失 46億円（前期は122億円の営業利益）



液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品が好調に推移したものの、世界的な販売の伸び悩みなどにより液晶テレビ市場が低迷し、前年を下回りました。電子デバイス関連は、半導体市場が世界的に厳しい状況にあり、高密度ビルドアップ配線板が増加しましたが、フォトマスクやハードディスク用サスペンションなどのエッチング製品が減少しました。

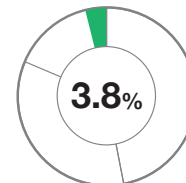


半導体用フォトマスク

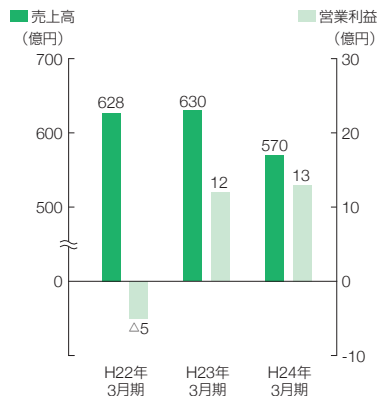
## 清涼飲料部門

## Beverages

売上高構成比



売上高 570億円（前期比9.5%減）  
 営業利益 13億円（前期比6.8%増）

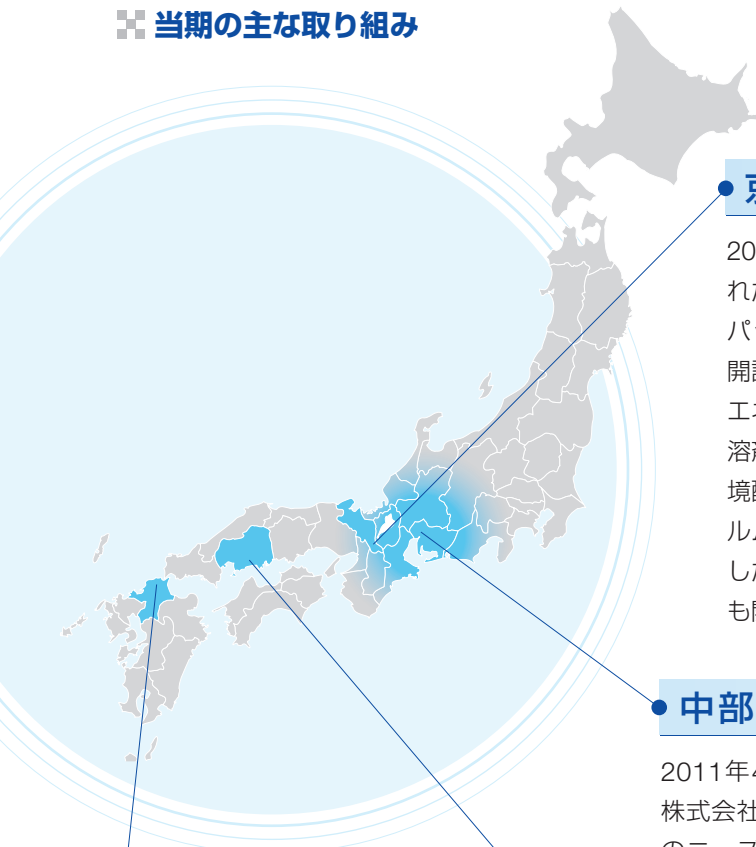


個人消費が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、国内最軽量ボトル「e c oる ボトルしぼる」を使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。その結果、コーヒー飲料は減少しましたが、ミネラルウォーターが増加しました。



清涼飲料

## 当期の主な取り組み



### ● 京都：環境に配慮したパッケージ工場を新設

2011年11月、紙器などを製造する田辺工場内に、機能性に優れたフィルムを使用した、食品・日用品・医療品などに最適なパッケージを製造する新棟を開設しました。この工場は熱エネルギーの効率的な使用や溶剤の再利用を可能にした環境配慮型の工場で、紙とフィルムの両方のメリットを活かした“ハイブリッド製品”なども開発していきます。



### ● 中部地域：地域密着の新体制発足

2011年4月、中部地域を担当する製造と販売の部門を統合して、株式会社DNP中部が発足しました。地域密着度を一層高め、個別のニーズにきめ細かく対応して事業を拡大していくとともに、生産効率の向上などに取り組んでいきます。

### ● 福岡：エネルギー部材を拡大

2011年4月、世界No.1シェアを獲得しているリチウムイオン電池用ソフトパックと、太陽電池用部材を生産する新工場を北九州市に開設しました。生産能力を従来の3倍に増強し、全世界へ製品を供給する重要な拠点としていきます。

### ● 広島：高機能な光学フィルムの製造ラインを増強

2011年11月、三原工場に新棟を開設し、薄型ディスプレイ向けの高性能反射防止フィルムの製造ラインを増設しました。製造工程の自動化による生産性と品質の向上に取り組むとともに、3Dディスプレイ用部材やタッチパネル用部材など、多様な高機能光学フィルムの開発・製造を推進します。





## DNPフォトマスクテクノロジー台湾 (DNP Photomask Technology Taiwan Co., Ltd.)

東アジアを中心とした半導体用フォトマスク需要に応え、  
世界市場において一層のシェア拡大を図る。



近年、台湾をはじめとする東アジアで半導体市場が伸張しており、フォトマスクの需要も拡大してきました。世界の半導体生産の中心拠点のひとつとして、台湾には多くのメーカーが集まっています。

DNPフォトマスクテクノロジー台湾は、こうした需要の高まりに応え、東アジア地域における先端フォトマスクの供給拠点として、2010年4月、台湾・新竹市に工場を開設しました。45nm(ナノメートル)、40nmの先端品を中心に、32nm、28nmの最先端品まで対応しています。

今後は、台湾国内の半導体メーカーに対する先端フォトマスクの供給のほか、東アジア各国や日本のメーカーにも供給先を拡大していく予定です。同社は、イタリ

アに続く2つ目の海外生産拠点として、DNPのフォトマスク事業における戦略的な役割を担っています。最先端フォトマスクの開発・製造に強みを持つDNPは、グローバルな供給体制を強化し、世界市場における一層のシェア拡大を図ります。

### 会社概要

名称：DNP Photomask Technology  
Taiwan Co., Ltd.

所在地：台湾 新竹サイエンスパーク内

設立：2006年

資本金：5,170,618千ニュー台湾ドル

## 鋼板やステンレス、アルミに直接印刷、塗装する「エリオ製品群」



「エリオ製品」を使用したホテルの内装(左)や建物の外装壁面

### ❖ 金属に“デザイン”“機能”を付与する「エリオ製品」

DNPは、住宅やオフィス、商業施設などの内・外装材、建具や収納製品、自動車や鉄道車両の内装材など、“快適な住空間”に関わる幅広い製品を提供しています。

そのひとつである「エリオ製品」は、新日本製鐵(株)との協業により、同社が開発した鋼板にDNPの印刷技術を融合させた製品であり、さらにはステンレス、アルミニウムなどのさまざまな金属に直接印刷を行った製品があります。燃えにくいなどの金属の特性を活かしつつ、リアルな質感や高級感などを演出することができます。住宅の玄関ドアやキッチン、ユニットバスの壁面パネル、ホテルやオフィスビルなどの装飾材やエレベータの内装材、国内外の鉄道車両の内装材、冷蔵庫などの家電の外板など、幅広い分野で採用されています。

### ❖ 省エネルギーに対応した新製品の展開

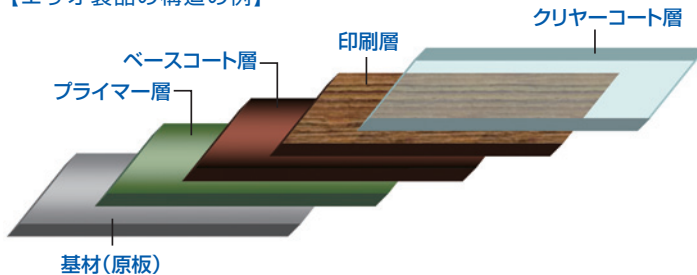
近年、オフィスビルや公共施設などで、自然光を積極的に採り入れたり、照明を減らしたりする節電対策が強化されてきました。節電や省エネルギーの需要の高まりに対してDNPは、機能性金属パネル「高反射光拡散 エリオ」を開発し、2012年6月に発売しました。自然光や照明光を効果的に反射させるこの製品は、内壁や天井などに使用して、間接光を空間の隅々にまで拡散させることによって照度を上げることができ、省エネを実現します。

今後DNPは、太陽光や熱などの自然エネルギーを効率的に活用する、断熱性や遮光性に優れた建材製品も開発していきます。

## ❖ 基材(原板)開発と高度な印刷技術との融合によるDNPの製品開発の強み

鋼板やステンレス、アルミニウムなどの金属に、直接印刷・塗装する独自の製法で、高付加価値製品を開発・製造しています。

### 【エリオ製品の構造の例】



### 【エリオ製品の使用例】



玄関ドア



浴室内装パネル



車両内装(東北新幹線はやぶさ グリーン車)



家電製品

## ❖ 省電力を実現する新製品「高反射光拡散 エリオ」

この新製品は、オフィスビルやホテル、鉄道の駅や車両、商業施設その他の内壁や天井などに最適で、自然光や照明光を効果的に反射・拡散させる省エネ型の金属パネルです。

《本製品の特長》

- 光を高反射・高拡散させる機能によって、少ない光を広い範囲に拡散させることが可能で、場所による明暗差を低減させることにより省電力を実現します。
- パネル表面の広い範囲に光を分散させて反射させるため、柔らかな間接光が得られます。LED照明との相性も良好です。
- 微細な凹凸の表現により、金属パネルでありながら温かみのある“手触り感”が得られます。



間接光を空間の隅々まで拡散させることで、同じ照明の環境でも、照度を上げることが可能です。

## ❖【2012年3月7日発表】

### フルカラータイプのリップマン型ホログラムの明るさや量産性を向上

DNPのリップマン型ホログラムは、セキュリティ性などで高い評価を得ており、ブランド保護用途を中心に、国内外の50社以上で緑色の単色タイプが採用されています。近年は、ホログラムを貼付する製品のイメージや企業のイメージカラーに合わせたデザインが求められており、DNPはフルカラータイプのリップマン型ホログラムも実用化しています。フルカラーでのリアルな立体表現には、特殊な材料と製造プロセスが必要となるため偽造が極めて困難で、DNPのほか、世界で数社しか量産に対応できていません。

今回、このフルカラータイプについて、材料や生産設備などを改良し、明るさや量産性などを大きく向上させました。明度の高い材料の採用によって明るさを従来の約2倍に引き上げるとともに、生産設備の自動化と省力化によって生産性を向上させて製造コストを従来の約半分に削減し、意匠性向上とコストダウンを実現しました。DNPは、フルカラータイプのリップマンホログラムを、キャラクター製品のライセンスシールや高級グッズなどのブランド保護用途で提供していきます。



フルカラータイプの  
リップマン型ホログラム

## ❖【2012年3月19日発表】

### スマートフォンで「雲龍図」を楽しみながら鑑賞できるアプリを開発

スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、展覧会開催に合わせて、電子図録などの作品鑑賞用アプリを配信する事例が増えています。DNPは今回、株式会社デジタルえほんと共同で、スマートフォン向け美術アプリの第1弾『My雲龍図』を開発しました。これは、特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」(2012年3月20日～6月10日、東京国立博物館)にて、保存修復事業後の世界初公開となった「雲龍図」(曾我蕭白筆、1763年)を紹介するアプリです。スマートフォンの機能を活かし、「雲龍図」を拡大・縮小して鑑賞できるだけでなく、日本の伝統的な遊びの「福笑い」の要領でオリジナルの「雲龍図」を作成して楽しめる、新しいタイプの美術アプリです。

DNPとデジタルえほんは、ミュージアムグッズの新たなジャンルとして、展覧会来場者や美術ファンが美術作品を気軽に楽しめる「スマートフォン向け美術アプリ」の制作を推進します。両社は、美術館や展覧会主催企業などに向けて、ミュージアムグッズ用や教育用などの美術アプリを企画し、その制作から配信までの事業を幅広く積極的に展開していきます。



『My雲龍図』で作成したオリジナルの「雲龍図」  
(写真下)

## ❖【2012年3月19日発表】

### Androidアプリの不正改ざんを検知して強制終了させるソフトウェアを開発

Androidは、スマートフォンなどのOS(基本ソフト)として近年急速に普及していますが、Android搭載端末向けアプリケーション(Androidアプリ)の多くは、解析されやすいプログラミング言語で開発されており、フィッシング詐欺や高額請求などの動作を行わせる不正アプリも増加しています。そこでDNPは、Androidアプリの不正改ざんを防止するソフトウェアを開発しました。

このソフトウェアは、アプリ提供会社などが開発したAndroidアプリを解析して、改ざんされにくい状態に変換するものです。変換後のAndroidアプリは、不正な改ざんを自動的に検知し、プログラムやデータが書き換え

られていた場合には強制的にアプリを終了させます。悪意のある動作を行うように改ざんされたアプリや、アイコンや文字などを入れ替えたアプリを、すべて自動的に検知し強制終了させることによって、不正アプリによる被害を防止できます。また、解析されやすいプログラミング言語で開発されたAndroidアプリのプログラムを難読化することによって、プログラムのノウハウやロジックの流出も防止します。

DNPは、アプリ提供会社向けに、当ソフトウェアを使ったセキュリティ強化サービスを2012年4月に開始しました。

## ❖【2012年5月】親しみやすいキャラクターを用いた企業イメージ広告を開始

ディー エヌ ペンギン

# はじめまして、DNPenguinです。



ディー エヌ ペンギン  
**DNPenguin**

■新しいキャラクター「DNPenguin (ディーエヌペンギン)」が、DNPの製品やサービス、企業活動などをわかりやすく紹介していきます。CMや新聞広告を展開するほか、ウェブサイトでは、DNPenguinが案内する「DNP トビックス」や、オリジナル壁紙などもお楽しみいただけます。

ディー エヌ ペンギン

## DNPenguin 広報室

～ DNPのあれこれ、ご紹介いたします～

|                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| <b>honto</b>              | <b>有線充電電池</b>      |
| <b>フォトブック</b>             | <b>雑誌</b>          |
| <b>ムーブール-DNP ミュージアムラボ</b> | <b>ニューロマーケティング</b> |
| <b>宇宙倉</b>                | <b>エレクトロンビーム</b>   |
| <b>スマートフォン</b>            | <b>無線充電システム</b>    |

DNP Penguin プロフィールはこちら

DNPenguin  
TVCM コレクション

オリジナル壁紙  
ダウンロード  
[PC・スマートフォン]

DNPenguin  
広報アーカイブ

DNPトビックス #01  
**honto**

---

**honto**がなぜ、21世紀の書店と呼ばれるのか。

honto(ホント)とは、書店(丸善、ジュンク堂、文芸堂)・ネットストア・電子書籍ストアをひとつにまとめた「ハイブリッド書店」です。

hontoのWebサイトでは、電子書籍も紙の本も、ひとつの画面から選び、買うことができます。買った本の一覧がひと目でわかる「本棚」を利用できたり、購読履歴からおススメの本を紹介するレコメンド機能がったりと、様々なサービスが充実しています。

また、今後はWebサイトだけでなく、「ハイブリッド書店」の中で利用できる共通のIDや、共通でたまるポイントサービスも順次スタートしていきます。

DNPのhontoは、いつでも、どこでも、好きなカタチで、あなたに本を届けます。

**honto** honto Webサイト  
<http://honto.co.jp/>

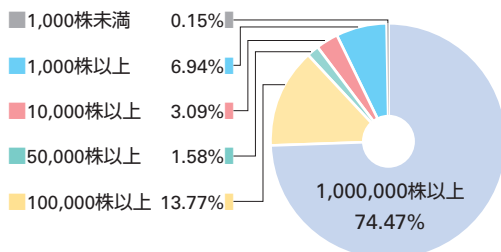
<http://www.dnp.co.jp/dnpenguin/>

## 株式の状況

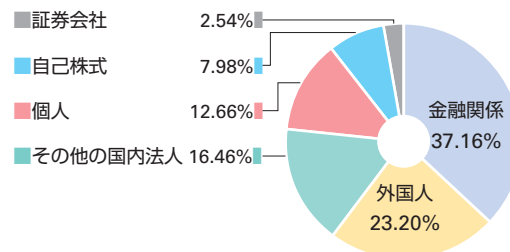
発行済株式総数  
700,480,693株  
(自己株式  
55,894,120株を含む)

株主数  
32,330人

### 所有数別分布状況



### 所有者別分布状況

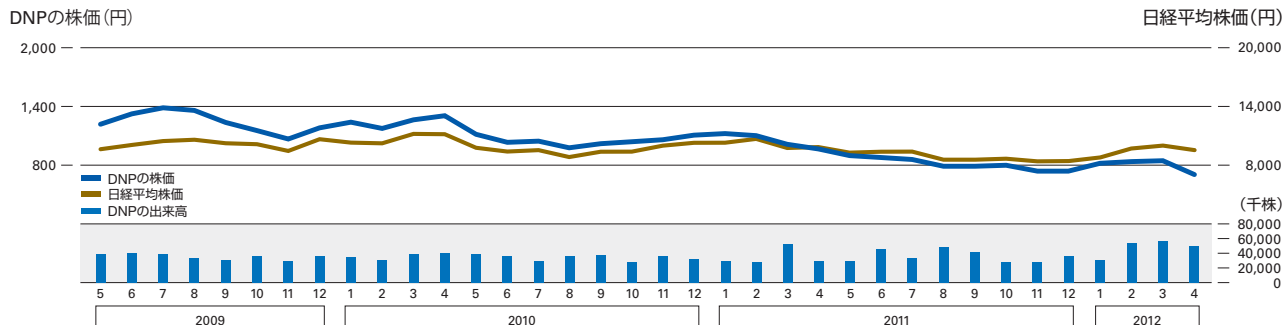


## 大株主(上位10名)

| 株主名   | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                               | 40,123  | 6.22    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)                             | 31,244  | 4.85    |
| 第一生命保険株式会社  | 30,882  | 4.79    |
| ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリ バンク フォー デポジタリ レシート ホルダーズ | 26,788  | 4.16    |
| 株式会社みずほコーポレート銀行                                       | 15,242  | 2.36    |
| 日本生命保険相互会社  | 14,349  | 2.23    |
| 自社従業員持株会  | 13,646  | 2.12    |
| SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS              | 12,843  | 1.99    |
| 株式会社みずほ銀行   | 12,471  | 1.93    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)                            | 7,437   | 1.15    |

(注) 1.持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数(644,586,573株)を基準に算出しております。  
2.自己株式は、上記大株主からは除外しております。

## 株価 / 出来高の推移



## ❖ 会社概要

商 号：大日本印刷株式会社  
 英文社名：Dai Nippon Printing Co., Ltd.  
 本社所在地：東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
 電 話：03(3266)2111 ダイヤルイン案内台  
 U R L：http://www.dnp.co.jp/  
 創 業：明治9年(1876年)10月  
 設立年月日：明治27年(1894年)1月19日  
 資 本 金：1,144億6,476万円



表紙：「エリオ製品」のほか、さまざまな住空間ソリューションを紹介するショールーム(DNP五反田ビル)

### CONTENTS

|              |   |             |    |
|--------------|---|-------------|----|
| 株主の皆様へ       | 2 | 世界のDNPグループ⑦ | 9  |
| 第118期 決算のご報告 |   | フォーカスDNP    | 10 |
| データハイライト     | 4 | ピックアップニュース  | 12 |
| 連結財務諸表       | 5 | 株式情報        | 14 |
| 部門別営業報告      | 6 | 会社情報        | 15 |
| 当期の主な取り組み    | 8 | 株主メモ        | 16 |

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。  
 ※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

## ❖ 取締役および監査役

|          |       |       |         |
|----------|-------|-------|---------|
| 代表取締役社長  | 北島 義俊 | 常務取締役 | 野坂 良樹   |
| 代表取締役副社長 | 高波 光一 | 常務取締役 | 塚田 正樹   |
| 代表取締役副社長 | 山田 雅義 | 常務取締役 | 臺田 栄    |
| 代表取締役副社長 | 北島 義斉 | 常務取締役 | 山崎富士雄   |
| 専務取締役    | 波木井光彦 | 常務取締役 | 神田 徳次   |
| 専務取締役    | 土田 修  | 取 締 役 | 塚田 忠夫※1 |
| 専務取締役    | 吉野 晃臣 | 常勤監査役 | 野口 賢治   |
| 専務取締役    | 黒田雄次郎 | 常勤監査役 | 米田 稔    |
| 専務取締役    | 和田 正彦 | 常勤監査役 | 池田 眞一※2 |
| 常務取締役    | 広木 一正 | 監 査 役 | 松浦 恂※2  |
| 常務取締役    | 森野 鉄治 | 監 査 役 | 野村 晋右※2 |
| 常務取締役    | 秋重 邦和 |       |         |
| 常務取締役    | 北島 元治 |       |         |
| 常務取締役    | 清水 孝夫 |       |         |

※1.取締役 塚田忠夫は、「社外取締役」です。

※2.常勤監査役 池田眞一、監査役 松浦 恂 および野村晋右は、「社外監査役」です。

## ❖ 常務役員

|       |        |       |       |
|-------|--------|-------|-------|
| 西村 達也 | 北湯口 達郎 | 古谷 滋海 | 小池 正人 |
| 小楨 達男 | 斎藤 隆   | 峯村 隆二 | 山口 正登 |

## ❖ 役員

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 竹田 泰夫 | 宮 健司  | 杉本 登志樹 |
| 村本 守弘 | 小川 良夫 |        |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 事業年度            | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会開催時期      | 6月   |
| 上記総会における議決権の基準日 | 3月31日<br>その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。   |
| 剰余金の配当基準日       | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日  |
| 株主名簿管理人         | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部   |
| 上場証券取引所         | 東京証券取引所  |
| 公告方法            | 電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="http://www.dnp.co.jp/ir/">http://www.dnp.co.jp/ir/</a> )<br>ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 |

## 株式事務に関するご案内

### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店

### ※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

**大日本印刷株式会社** 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号  
TEL: 03-3266-2111 (ダイヤルイン案内台)



グリーン電力を導入しました(年間115万kWh)。この報告書を印刷する際の電力(400kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



CO<sub>2</sub>の「見える化」  
カーボンフットプリント  
<http://www.cfp-japan.jp>  
検証番号:CV-BS01-030